



合德同心 資源共享

2021 基礎忠恕日本道場 視訊資源共享大會記要

◎ 日本熊本道本道院 中山慶生

2021 年 5 月 16 日，是一個 天恩師德加被、殊勝的好日子。

偉大的母親節過後第一個週日，日本開始進入梅雨天，真希望借由天降甘露，愿全球疫情早日結束，法雨能令蒼生放下一生的煩惱、洗去一身的塵埃。

當日天氣晴朗、萬里碧空，感恩 天恩師德、上天老中及諸天仙佛的恩賜，大德張老前人、袁前人在天之靈的庇護，恭請黃錫堃總領導點傳師及負責海外道場的陳平常點傳師慈悲賜導，日本道場首次資源共享網絡視頻會議，真是千載難逢的大好機會。

是日早上 10 時正，黃總領導點傳師慈悲賜導，並問候與勉勵在日本開荒辦道的所有點傳師、道務助理、壇主及日本的道親，無為地付出、奉獻。

總領導點傳師問候

黃 總領導點傳師 のご挨拶



合徳同心・資源共享

◎ 日文翻譯 椎原那嘉

2021年5月16日は天恩のご加護によりとりわけ素晴らしい日となりました。

偉大なる母の日の後の最初の日曜日です。日本は梅雨入りし、天から降ってくる甘露の力を借りて一日でも早いコロナの終息を願うばかりです。法の雨は蒼生に一切の煩惱を放下させる事が出来、身の塵埃を洗い流してくれます。

当日は天気も良く、萬里に青空が広がり、天恩師徳、上天老母及び諸天仙佛のご加護に感謝し、大徳張老前人、天にいる前人方の靈的庇護を受け、恭しく大徳黄總領導點傳師、及び陳平常點傳師のご慈悲により千載一遇のチャンスにより日本情報交換会を開催する事が出来ました。

午前中 10 時、黄總領導點傳師のご慈悲を賜り、日本で道の開墾に尽力されている點傳師、助理、壇主、そして日本の道親に向けて励ましのお言葉を頂きました。

線上由何春晴道務助理操持、伊左次ルリコ前賢翻譯。黃總領導點傳師首先以：

東晉陶淵明的「落地為兄弟，何必骨肉親」來引導大家明心見性、了悟本來真面目。釋意：人一生下來就是同胞兄弟，何必要同一父母所生的呢？因為我們都是 上天老中那裡來的、一 中所生的同胞，萬物與人都是同類。

接著引用「從來菩薩不離身，自家昧了不相親，若能靜坐迴光照，便見生前舊主人。」

釋意：經過明師（濟公活佛）一指後，我們了悟自己身中有一位菩薩（自性佛），從來沒有離開過，只是自己迷惑而不認識它而已，我們如果能靜心迴光返照，它的光芒就展現在我們眼前，並且我們也能夠看到它了。

最後又以《六祖壇經》：「佛法在世間，不離世間覺，離世覓菩提，恰如求兔角。」

釋意：佛的一切道理原來都在世間，就是倫常之道，可是你不能在世間之外去追求佛的道理，佛法是存在這世界上，凡是日常生活一切言行舉止（言語、行為、儀態、風度）都是有佛法的，假使只求個人的清靜，離去凡塵世界尋找大道，那就是如同要在兔子頭上找角一樣，永遠是不可能有的。

聆聽黃總領導點傳師慈悲賜導，法喜充滿，讓大家受益良多。各位點傳師及前賢大德在海外開荒辦道，都是為了一貫大道的延續（道統、心法的傳承）、天命真傳，可以說是有史以來最古老、最深奧，也不能用人智去理解、去探測的。

司会とパソコン操作を何春晴助理、伊左次ルリコ壇主前賢通訳により黄総領導點傳師は

● 東晋、陶淵明の(落地為兄弟、何必骨肉親)(地に落ちて兄弟と為る、何ぞ必ずしも骨肉の親のみならんや)を引用し、私達を明心見性に導き、本来の真面目の了悟へ誘ってくれました。

意:(人は生まれながらにして同胞の兄弟である。必ずしも同じ父と母の元に生まれて来ないと兄弟と言えないのか? 私達皆、天にいる老母の所からきた老母の生んだ同胞であり、萬物と人(たましい)は皆同類なのです。)

● 『菩薩は身から離れた事はなく、ただ己が迷ったが為に菩薩が遠のいたのである。静かに迴光返照する事が出来れば、本来の己の主人に会う事が出来る』

意:(濟公活佛の一指後、私達は己の中に菩薩(自性佛)がいる事を悟り、またその菩薩は今まで一度も私達から離れた事はない。ただ己が迷い菩薩を認識出来なくなっているだけである。私達がもし、冷静に落ち着く事が出来ればその光は私たちの前に現れ、見る事が出来るのです。)

● 『佛法は世の中にあり、世の覺から離れた事は無い。世間を離れて菩薩を求める者はまるで兔の角を探すようなもの』(仏法は世間にあり、世間の外で菩提を探すのは、兔の角を探す如く、不可能である。)

意:佛の一切の道理の元は全て世の中にあります。これこそ倫常の道です。世の外で佛の道理を追求する事は出来ません。佛法はこの世に存在し、全ての言動(言語、行為、態度)日常生活に佛法は必ずあります。ただ個人の清浄を求めて凡塵世界から離れ大道を探すというのであれば、それはまるで兔の頭の角を探しに行くようなもので、永遠に探し出す事は出来ないのです。

黄総領導の慈悲に溢れた導きは道理法喜に満ち溢れ、皆に多くの利益をもたらしました。海外で開荒、辨道されている各位點傳師及び前賢大徳の皆さんはこの大道(道統心法の伝承)を天命真傳させる為、言わば中国(人間の歴史)最古で最も奥深く、最も理解できない、理解で探測出来ない世界を傳ようとしているのです。

之後，由負責基礎忠恕海外道場、目前在澳洲的陳平常點傳師慈悲賜導，明確地說明本次大會的目的：「……為什麼要資源共享呢？因為在海外開展道務，資源非常有限，所以希望各單位能資源共享。例如：講師相互支援，也分享道務發展的經驗。展望未來能相互激勵修辦道的熱忱，也能相互幫助……。」

接下來由各單位的點傳師分享在日多年來的心得及辦道的心路歷程，有東京忠恕道院的蔡春綢點傳師及天榮中堂渋谷洋滿點傳師、山梨天軒中堂的林修煥點傳師、千葉天都中堂的簡清華點傳師、還有熊本道本道院的黃野梨圭點傳師，都分別介紹了道場在當地的簡歷及道務萌芽過程。點傳師及開荒傳道的各位前賢大德可以說都是披星戴月、一步一腳印地走過來，因為異國他鄉的風土人情、文化習慣、語言等都是一種障礙；然而道種扎根、道葉萌芽，都沒有因種種的天災人禍而被考倒，更進而能道傳萬國九州，這就是天命的殊勝，有老中的恩賜，我們才能平安修行；有諸天仙佛的庇佑，我們才能順利修辦。

東京天榮中堂渋谷點傳師分享了在傳道時遇到的事情：曾有一位日本人自己登門拜訪道場，想了解一貫道。兩人談了很久，渋谷點傳師很慈悲想度他求道，但這位日本朋友看到道場外的招牌寫著「宗教法人」，非常害怕是一般金錢信仰的宗教，因為日本之前的邪教（奧姆教）令日本人反感，並在內心留下不良的暗影，結果還是緣分未到，此人沒有填寫名字，也無法引度求道。所以渋谷點傳師說：「日本人要度日本人都困難，更何況外國人要度日本人呢！」

末劫時期、道劫並降、大道無情，惟人間有愛，但不知有大道可修、不知有聖教可學、不知有明師可求、不知有善可作，豈不蹉跎！

最後由各中堂壇主分別介紹道場近況：

東京的渋谷榮妹壇主：「每月都有道學研究班，去年因疫情影響，開始實行每月一次的視訊研討會。」

基礎忠恕海外道場の責任を担うオーストラリア道場の陳平常點傳師による今回の目的とは「なぜ情報交換会をする必要が？なぜなら海外で道務を開展するには情報に限りがある。だからこそ各単位で情報共有するべき。例えば、講師を派遣、支援しあい道務発展の経験を共有。未来を展望して、お互いに励まし合って道を宏め、情熱によってお互いに助け合うことができます。」

次に各位道場の長きに渡る辨道の過程など簡単に紹介して頂きました。東京道場の蔡春綢點傳師及び渋谷點傳師。山梨道場の林修煥點傳師。千葉道場の簡清華點傳師。そして熊本道場の黄野梨圭點傳師。點傳師及び道を伝える為に尽力して来られた各位前賢大徳の皆さんは異国の地で、人情、文化、言語、様々な障碍を一つ一つ乗り越え、そして天災人禍にもめげずに広く傳て来られました。これも天命の殊勝であり、老母の恩の賜物なのです。私達が平安に修行に励む事が出来るのも諸天仙佛のご加護によるものです。

東京天榮道場の渋谷點傳師が遭遇したお話で、ある一人の日本人が看板を見て自ら道場に入って来られました。二人は久しく語らい、渋谷點傳師のご慈悲で求道させたかったのですが、看板に“宗教法人”と書いてあるのを見て非常に恐れたのです。なぜなら以前日本に邪教が広まり大きな事件を起こし、未だ日本に暗い影を落としているからです。そのせいもあってか因縁熟せず、求道の紙に名前を書いてもらうよう促すも、名前はかけないと言って去って行かれたのです。渋谷點傳師曰く、同じ日本人を持ってしても日本人を導く事はとても困難で、ましてや海外の人がどうやって日本人を導けるのか？

末期の時期、道と劫が共に降り大道は無情なり。人間には愛があるが、天へ通ずる道を修る事知らず、聖教があるにも関わらず学ぶこと知らず、また明師を求めることも知らず、善の事を作ることも知らず。善哉善哉…

最後に道場壇主による道場の近況報告です。

東京道場渋谷榮妹壇主：毎月の勉強会去年からコロナの影響により月に一度オンラインでの勉強会

恭請 渋谷洋滿點傳師

10:10-10:20

日本11:10-11:20

池袋本町

慈悲賜導

渋谷榮妹(華)



千葉縣的林明君壇主：「以中文教學方式與道親廣結善緣，教素食行方便。」

山梨縣的馮尚軒壇主：「初步以素食及禮節來引導道親學習。」

熊本縣的椎原那嘉學長：「道本道院因疫情關係，每年的祈福法會暫停；每週日保持開班闡道，讓道親學習聖賢的性理心法。」

道場的宗旨都是在引領道親禮佛、研究、素食，進而明心見性，以明傳詩書暗傳道的方式來接引有緣蒼生同登法航，共渡彼岸。

全球的災難疫情，不是只讓世人驚恐，而是能讓眾生快速覺醒末後了，早日求得寶貴的大道，早日誠心茹素，廣度眾生，責無旁貸，世界才會無災祥和。

再次地表心感恩 上天老中及諸天仙佛的慈悲恩賜，也感謝黃總領導點傳師及陳平常點傳師、各位點傳師的慈悲賜導。

首次資源共享會議圓滿成功（日本的道親則希望之後能同時看到日語的翻譯文，多了悟大道的真理）。感謝 天恩師德，恭祝十方方法界平安順利，聖凡如意，道務宏展，世界和平，諸事圓滿！

恭請 陳月娥點傳師 (黃野點傳師)

10:20-10:30

日本 11:20-11:30

熊本



慈悲賜導

椎原那嘉(日)



千葉道場林明君壇主: 中国語のレクチャーにより道親と広く善縁を結び、素食の方法をレクチャー

山梨道場馮尚軒壇主: 素食及び礼節を主に学習

熊本道場椎原那嘉学長: 毎年執り行っていた祈福法会をコロナの影響で中止、毎週日曜日の勉強会を保持し、聖賢の性理心法を学習

道場の宗旨は(礼節、研究、素食)で明得の詩書を伝え、ひそかに道を伝える方法で縁ある蒼生を導き法航に登り、彼岸に渡るのです。

全世界の災難、疫病は人々を驚き恐れさせるのでは無く、衆生を一日でも早く大道の寶を得られるよう速やかに目覚めさせるのです。一日でも早く誠心をもって菜食し、貸し借りのない、そして災難のない平和な世界でありますように

再度、上天老母及び諸天仙佛の慈悲の賜物に心から感謝し、また、黄総領導點傳師及び陳平常點傳師にも改めて感謝いたします。

初めての情報交換会が成功出来たこと(日本の道親は日本語翻訳で大道の真理を了悟できた事を期待)感謝天恩師徳、十方法界が平安順利であり、聖と凡が意のまま道務宏展し、世界平和で諸事円満でありますよう…